

一般社団法人 千葉県社会福祉士会  
第3回定時総会議事録

1、開催日時 平成27年6月13日(土) 13時30分～14時45分

2、場 所 塚本千葉第五ビル3階 大会議室

3、出席者 会長 染野 貴寛  
副会長 相澤 雅則  
副会長 奥野 不二子  
副会長 宮間 恵美子  
事務局長 鈴木 将人  
会員理事 浅見 雅人  
大浦 明美  
岡本 武志  
小川 晴雄  
神田 一彦  
櫻井 勉  
渋沢 茂  
出口 紀子  
吉田 愛子  
監事 伊達 雅則  
山口 定之  
相談役 五十嵐 伸光  
出席代議員 39名

(内訳：議場出席者 20名、書面表決者 19名)

4、次第

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 議長・議事録署名人選出
- (4) 議事

第1号議案 平成27年度補正予算について

第2号議案 平成26年度年度事業報告および決算報告について

## 【議事録】

### ●開会発声

(宮間) 定刻となりましたので、これより一般社団法人千葉県社会福祉士会第3回定時総会を開催致します。

### ●会長挨拶

(染野会長)

代議員、会員の皆様におかれましては、3月の総会に引き続き、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

私は、日頃、医療機関の相談員として、相談を受ける立場で働いていますが、昨年度は、132件のご相談をお受けしています。県内に、ソーシャルワーカーといわれる人は、約6,000名いらして、単純に132件を掛けてみますと、県の人口の1割を超える数となります。

どうぞ、率直で活発なご議論を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上でご挨拶とさせていただきます。

### ●議長選出

(宮間) 係の方は、議場閉鎖をお願いします。議事に移るに当たり、議長の選出を行います。定款24条に総会の議長は、会長又は会長の指名する理事がこれにあたる。」となっております。染野会長いかがいたしましょうか。

(染野会長) 定款に基づき、今日の議長を神田理事にお願い致します。

### ●議長就任

(神田議長) 只今、議長に選任されました。よろしくお願い致します。

### ●定足数の確認

(神田議長) この総会の定足数と出席者数の確認を行います。事務局から報告をお願いします。

(鈴木事務局長) 代議員の定数は45名です。定足数は、「一般社団法人千葉県社会福祉士会定款第25条の規定により、代議員総数の2分の1以上です。従いまして、定足数は23人以上ということになります。

次に、出席者数をご報告いたします。本日会場にご出席いただいているのは、20名です。書面による表決者数は19名で総数は39名です。出席者数が定足数を満たしておりますので、この総会は有効に成立しておりますことをご報告します。遅れていらっしゃる方もいるかもしれませんので、正確な数につきましては議事録でご報告いたします。

### ●開会

(神田議長) 定足数を満たしており、この総会は成立しております。総会の開会を宣言いたします。

## ●議事録署名人選任

次に、議事録署名人2名を選出します。今日お越しの皆さんから立候補される方がいらっしゃいますでしょうか？

～お二人が立候補される～

川名真啓さん、白井正和さんのおふた方をお願いをしたいと思います。よろしいでしょうか？

～拍手～

ありがとうございます。では宜しくお願いします。

議事録に関しましては、事務局が記録作成いたします。具体的な議事につきましては「総会資料」をご覧ください。また、説明者の方は、ポイントとなる点について、説明をお願いいたします。

それでは、目次の順番に次第に従って議事を進行してまいりたいと思います。

## ●審議事項

### 議案第1号 平成27年度補正予算について（総会資料P1）

（鈴木事務局長）補正予算の内容について説明。

- ・広報役務費については、「点と線」を社会福祉士養成校に配布するため。
- ・災害対策委員会費については、栃木で開催する関東ブロックの委員会に参加するための経費。
- ・監査業務委員会経費については、ばあとなあで受任している法人後見の監査を独立した支出とするもの。

（質疑）

（常陸谷氏） 災害対策委員会については、今年度は、群馬県開催ではないか。

（鈴木事務局長） 申し訳ございませんでした。群馬に訂正いたします。

説明後、採決 賛成20名、書面表決賛成19名、合計39名で承認。

### 議案第2号 平成26年度事業報告および決算報告について（総会資料P2～P288）

（鈴木事務局長）・一般社団法人に移行して2年目となる

- ・若い世代、養成校や大学などに社会福祉士の活動の普及啓発し、人材育成に寄与した。
- ・理事会については、2カ月に1回の開催。議事録は、ホームページに記載。
- ・日本社会福祉士会の活動への参加は記載の通り。
- ・外部委員の推薦や講師派遣については、依頼元からのご希望を優先して派遣している。
- ・各委員会の活動報告

（総務委員会）

企画部会では地域集会の会場費補助を始めたが、周知が徹底しなかった。三団体研修については、生活困窮者をテーマとし相談支援の姿勢についての研修を実施。広報部会については、3月の「点と線」から養成校にも発送。

（総合相談委員会）

県からの委託事業を中心に研修会を開催。高齢者虐待対応専門職チームについては、弁護士会と協働した活動を行っている。

#### (研修委員会)

基礎研修Ⅰ、Ⅱを開催。H27年度からは、基礎研修Ⅲもスタートする。淑徳大学正課外プログラムとして、1年生に授業を行い、4年生については、他団体と協働で、正課内授業の学外講師として授業を担当した。

ジェイシー教育研究所から受託している国家試験対策については、事業規模を縮小した。

#### (ぱあとなあ)

年度途中から部会制を取り、受任者支援に力を入れた。登録員のしおりの改定を行った。登録員は、194名。準登録員は、24名。H22年度から法人後見を受任。

#### (独立型)

日本会の認定講座として、司法福祉連続研修会を開催。ホームレス巡回活動については、対象者がいなくなったことに伴い中止。

#### (ささえあい配分委員会)

配分したのは、広報誌発行にかかる業務費、淑徳大学の講師派遣経費（講師謝金基準額への不足分）、県の受託事業打ち合わせ経費、被災地訪問経費など。

#### (災害対策委員会)

災害研修会の開催。被災地支援として、福島施設に訪問を行っている。

#### (倫理委員会)

平成26年度の苦情申し立てはなし。

・会計報告については、事業ベースのものが、収支計算書であり、費目ベースのものが損益計算書となっている。

・収入の部では、1,796,677円予算を上回っている。

・支出の部では、総務事業では、地域集会の会場費がほとんど使われなかった。研修事業では、参加者がスタッフを兼ねている部分が多く、スタッフ手当が下がっている。大学での社会福祉士取得講座の事業規模が拡大した。ぱあとなあ千葉運営事業は、家庭裁判所とのやり取りなど後見人支援事業や、報告書の読み込み作業などの費用が増加している。独立型については、研修事業を充実した。事務費については、事務局員が定着せず、奥野副会長が会計のフォローを行ったことを始め、三役での対応が必要となった。

・資産の状況については、資料P22のとおり。未払い金については、昨年度よりも100万円以上減らしている。

#### 監査委員報告

(山口監査委員)・監査報告書について、押印したものを、当日配布となったことは、申し訳なかった。監査については、会計監査については、帳簿、書類の確認を行うとともに、理事会にも出席し、運営の状況などの確認をしました。結果は、資料の通り。

・未払い金については、改善しているが、各委員会の事業を実施した際の実費相当分は、速やかに請求、迅速な支払いを要望するもの。

## 質疑

(白井氏)・地域集会の会場費が活用できていない状況がある、一方、会員数は増えているが、活動に参加していない会員も多く、評価をふまえて、地域集会の活性化を図って欲しい。

(鈴木事務局長)・各地域で活躍している方を、会の活動にも引っ張り出すような取り組みをしていきたい。

(篠田氏)・資料 P16 のささえあい配分金については、会の会計とは別会計なのか。

(鈴木事務局長)・ささえあい配分金については、口座は、P24 のゆうちょ銀行で、残高が 6,355,196 円となっているもので、別会計になっている。残高には、平成 26 年度の配分金が含まれており、1,242,316 円を千葉銀のほうに移すことになる。このため、支え合いの残高は、5,112,880 円となる。

(岩田氏)・代議員を引き受けているが、社会福祉士が名称独占であり、現場の仕事のなかでは、いろいろな解釈をしている人がいると感じている。これからの人材を育てていく、会の活動に参加していない人も巻き込んでいく必要を感じるが、それにあたるにしても、社会福祉士の捉え方が人によってバラバラなのではないか。今後、社会福祉士はどうあるべきか、資格制度を取り巻く現状などについて、お伺いしたい。

(染野会長)・名称独占であることについて、基礎研修の内容として、研修している。社会福祉士は、医療、県や市町村などの自治体、さらに教育分野からも様々な要請を頂いているところで仕事の範囲が広がっている。そうしたことを、大学での講座や養成校への周知などのなかでも若い人たちに伝えていきたい。

(片野氏)・会計処理を委託している監査法人の仕事がよろしくないのではないかと。源泉徴収の送付が、遅かったうえに間違いがあった。しっかりやるように申し入れしてほしい。

(染野会長)・会計処理は、会計事務所に委託している。次年度も決算に向けては、事務所と関わりをもつので、しっかりみていきたい。

(弘永氏)・事務局長が定着しないことについて、なぜ、こんなに人が変わるのか。給料が安いからか。奥野副会長がひとり、事務局の仕事をしている状況はどうかと思う。

(染野会長)・H26 年 7 月に常勤職員が休職してから、定着していない状況。採用時に業務を説明しているが、今後は、三役も含めて、定着支援を考えている。事務局に出入りする会員にも、暖かく声をかけてほしい。給料が高いか、といわれると高い額とはいえないが、常勤採用したいと考えている。

(弘永氏)・賃金は、しっかり払い、定着してもらおうようにしてほしい。

質疑後、採決 賛成 20 名、書面表決賛成 19 名、合計 39 名で承認。

## ●議事終了

(神田議長) 以上で、総会の議案及び報告事項は終了いたしました。円滑な議事進行にご協力いただきありがとうございました。

## ●閉会

(宮間) 皆様、神田議長お疲れ様でした。以上で、一般社団法人千葉県社会福祉士会第 3

回定時総会を閉会といたします。

以上をもって議事全部を終了し、14時45分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録をつくり、議長及びその会議において選出された議事録署名人がこれに記名押印する。

平成27年 6月13日

一般社団法人千葉県社会福祉士会 第三回定時総会